

馬島 個 （馬島 個） 産兒制限運動家。明治二十六年一月二百愛知縣名古屋産生
 丸、昭和四十四年十月五日没（一九三二—一九六六）。舊姓濱田。大正七年愛
 知醫學專門學校卒。賀川豊彦の貧民救済事業に共鳴して助勢。九年歐
 米留學、歸國後産兒制限運動を興す。昭和二年労働者診療所を開設、
 翌年東京市會議員、九年産胎事件の執行猶豫となる。二十四年日本産
 兒調節連盟を組織。また日中白人團父回復國民會議結成の畫力。二十
 五年日ソ協會理事長就任。遊社員馬島式ダッチングサリは海外でも
 知名。新日本醫師會會長、郵政新報社社長。
 著書 『産兒調節の理論と實際—性生活の合理化』（昭和六年二月）二十
 九年武俠社「性科學全集」、『幸福なる夫婦—産兒調節の科學』（昭
 和二十一年十一月一日新風社）、『産兒制限法圖説』（昭和二十一年
 二月十五日秀水社）、『安井誠一郎小伝』（昭和二十七年七月十日大
 学書房）、『阪本勝といふ男』（昭和二十八年二月）『日新都政新報社
 出版局「人物叢書」）、『激動を生きつゝの男—遺稿・馬島個自伝』（昭
 和四十六年二月）『日新日本家庭計画協会』等。

